

第 22 回 放送番組審議会

議事録

令和 7 年 10 月 20 日

株式会社コミュニティシェア FM

1. 開催年月 令和 7 年 10 月 20 日 月曜日 午後 14 時より
2. 開催場所 株式会社リゾン 会議室
3. 委員の出席 出席委員数 3 名（委員総数 5 名）
放送事業者側出席者 2 名

4. 議題

- ① 局長挨拶
- ② 番組審議

5. 議事の概要

「ASAKA SCHOOL RADIO」 （8 月 26 日・9 月 9 日放送分）
「YMT やまちゅーランチタイム」 （8 月 27 日・9 月 10 日放送分）

6. 議事内容

① 局長挨拶

- 10 月 16 日付けで、1 名事務局に人員を追加した。地域情報サイトを運営したり、番組パーソナリティを行っている方で、うまく連携して 775 の運営に携わってもらう予定。
- 先月開催した「775MARKET」は約 1 万 5 千人が来場し、警察や自衛隊の参加もあって大きな盛り上がりを見せた。来月行われる「和光市民まつり」では、ステージ司会や音響を担当。
- 活動範囲を朝霞市だけでなく和光市や新座市にも広げていく必要がある。市だけでなく、自衛隊や警察・消防などの公的機関や周辺大学、教育機関との連携にも力を入れていく。

② 番組審議

以下の番組について、放送視聴された感想や意見、課題点を挙げていただき、委員同士での意見交換や必要に応じて、事業者からの説明・回答をおこなった。

委員）中学生らしい初々しさや楽しさが感じられ、孫世代との会話のようで微笑ましく感じた。今の子供たちがどのような会話をしているかを知る機会として非常に良いコーナー番組であったが、「やっぱ」などの接続詞や若者言葉が多用されており、言葉が途切れがちで聞き取りにくさもあった。ラジオで少し聴く程度なら良いが、大人のリスナーが長時間聴き続けるには、内容が少し単調に感じられる可能性があると感じた。

事業者）大人の司会者が進行役として入ることで、番組がより聞きやすくなるかもしれないですね

委員）世代も全く違うし、自分も若い頃はあんな感じで話していたのかなと感じた。同じ世代の人たちが聴いたらずっと入ってくるのかもしれない。けれどもなかなかこのぐらいの若い世代の会話を聴く機会もないから非常に新鮮であった。

委員) 夏休みの思い出を放課後みんなで話しているような印象を受けた。私も、ら抜き言葉など言葉遣いが気になったので、15分くらいのコーナーがちょうど良い。このぐらいの若い世代はラジオを聴く習慣がないだろうから、どうやったら聴くようになるかが課題ですね。

事業者) 近いうちに、幼稚園や小学校とのコーナー番組を制作する予定だったので、今回この中学生の2番組がどのように皆さんに聴こえたのか知りたかったので、率直な意見が聴けて良かった。

委員) 身内の子や孫なら聴いていて楽しいかもしれないが、リスラジの聴取率を気にしているのなら、一般のリスナーが聴いても楽しい内容にするべき。また聴きたいと思わせる番組になるといい。

事業者) 進行役がもう少し会話に入って、昔と今の比較なども入れながら進行すると聴きやすくなるかもしれないですね。皆さま、貴重な意見をいただきありがとうございました。では、これで会を終了します。

7. 審議機関の答申または改善に対してとった措置
担当者に報告し、今後のFMの運営の参考にした。

8. 2025年10月22日水曜日に社内にて報告し、ホームページにて議事録を公開した。
<https://775fm.co.jp/>

社名 : 株式会社 コミュニティシェア FM
